

こどもを守る「いかのおすし」

先日は、児童の引き渡し訓練にご参加いただき、誠にありがとうございました。保護者の皆様のご理解とご協力のおかげで、スムーズに訓練を実施することができました。今後も、万が一の災害時の備え、学校と家庭が連携して児童の安全確保に努めてまいります。

1 通学路の遵守と安全確保について

○通学路を守っていますか？

本校では、児童の安全を第一に考え、通学路を指定しています。通学路は、交通量や道路状況を考慮し、安全性を確保するために設置されています。今一度、通学路を確認し、指定されたルートを守るようにしましょう。



2 不審者対応と防犯意識の向上

○「いかのおすし」を合言葉に！！

い か の お す し

こどもを犯罪から守る5つの合言葉を「いかのおすし」を確認しましょう。

ついて「いか」ない

登下校中や遊んでいるときに、知らない人から道を尋ねられたり、一緒に行こうと誘われたりしても、絶対についていけないようにしましょう。今は、ほとんどのスマートフォンに地図アプリが入っていますし、車で移動するときにもナビゲーションシステムを利用している人が多いので、こどもに声をかける理由はないはずです。

車に「の」らない

こどもの連れ去りや誘拐を企んでいる犯罪者は、こどもが一人にいるときに狙って声をかけてきます。「うちの人が病院に運ばれたから、車に乗って病院に行こう」「向こうで一緒にゲームをしない？」などと、こどもの心を揺さぶる声かけで連れ去ろうとします。知らない人から車に乗るように誘われても車に乗らないようにしましょう。



「お」おきな声を出す

知らない人が近づいてきて、怖い思いをしたときは、すぐに大きな声で「助けて」と叫びましょう。あまりの怖さに声が出ないときは、防犯ブザーが役に立ちます。ランドセルの使いやすいところに、つけておきましょう。いざというときに使えるよう、防犯ブザーのメンテナンスをしておきましょう。



「す」ぐ逃げる

声をかけられたり追いかけられたりしたらすぐに逃げましょう。大声を出すと同時に大切なのは、すぐに逃げて助けを求めることです。広い道や店など大人がいる場所へ逃げれば安心できます。学区には、「こども110番」の看板を掲げている店や建物があるので、確認しておきましょう。

「し」らせる

怖い思いや嫌な思いをしたときには、必ず家の人や先生に知らせましょう。本校に不審者情報が寄せられたときは、連絡メールを配信しています。日頃から「いかのおすし」を反復し、安全で安心できる環境をつくっていきましょう。